

公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ

一緒に考えよう 小金井市のこれからの公共施設

結果概要

第1回
12月14日（土曜日）

第2回
1月25日（土曜日）

第3回
3月1日（土曜日）

1、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 目的・実施概要

(1) 開催目的・趣旨

公共施設を取り巻く社会環境が大きく変わる中、市では、市民の大切な財産である公共施設について、これからの時代に必要な在り方及び既存施設の再編について検討を行っています。普段利用している身近なサービスや公共施設について考え、その実現に向けた気づきやアイデアを提案してもらい、今後の具体的な検討につなげることを目的として全3回のワークショップを開催しました。

(2) 実施概要

	第1回	第2回	第3回
日時	令和6年12月14日（土） 13時～16時	令和7年1月25日（土） 13時～16時	令和7年3月1日（土） 13時～16時
場所	小金井市市民会館（萌え木ホール）		
参加人数	市内在住又は在勤・在学の方を対象に定員35名にて募集を行ったところ、第1回は10名、第2回は新たな方も加わり10名、第3回は6名（※1名は事前にアイデア提出）の方にご参加いただきました。		
	2班編成 10名	3班編成 10名	3班編成 6名
プログラム内容	必要な公共サービスって なんだろう？ 未来の公共施設で 何をしてみたい？	みんなのやりたいを 実現するために 必要な機能を考えよう	私たちが考える これからの公共施設
	あなたは未来の公共施設で何をやりたいですか？ 行きたくなる、使いたくなる公共施設にしていきたいために、 皆さんのやりたいことを教えてください。	どのような場所になったら、「みんなの居場所」や「人と人をつなぐ機能」を実現する、皆さんの「○○したい」を実現できますか？ 今後（未来）の小金井市の公共施設の施設・機能、そして配置について一緒に考えます。	「私たちが考えるこれからの公共施設」として、まとめます。 第1回からのWSを通して皆さんが考えるこれからの公共施設のキャッチフレーズ、目指す姿や方針・在り方について一緒に整理します。

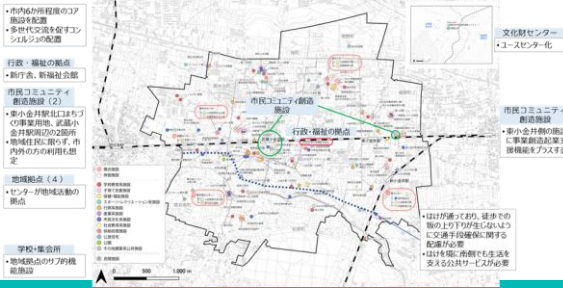
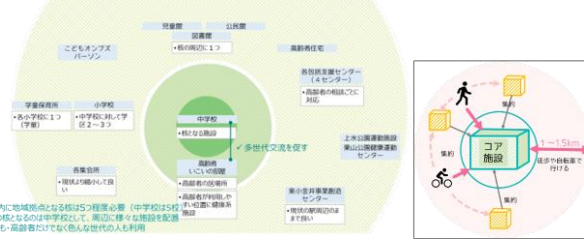
1、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 目的・実施概要

(3) 結果概要

	第1回	第2回	
テーマ	必要な公共サービスって何だろう？ 未来の公共施設で何をしてみたい	みんなのやりたいを実現するために必要な機能を考えよう	
結果概要	■ 公共施設の利用状況について - 日常的には図書館やスポーツ施設などの定期的な利用が多く、一方で、イベント等のスペースが必要とされる活動では集会施設等が利用されている。 ■ 必要な公共サービスについて - 継承していく人がいないと、使われない施設・市民から離れた施設になりかねない。 - キーとなるのはつなぐ・まとめる人。 - 世代によって使い方、また、コミュニティの度合いも変わっていく。 - 目的がなくとも使うことができ、地域・社会と多くのつながりを持つことができる公共施設が求められている。	■ 今後（未来）の小金井市の公共施設の施設・機能について - フードコートのような目的がなくても寄れる、人を機能別に分けないリビングのようなインクルーシブな施設が望ましい。 - 教育施設は、施設の共用化や今後空き教室が出てきた際の利用について検討すべき。 - なくなったら困るけれどあまり利用しない。そのような施設が多く見られるのが課題と認識している。 - 図書館はワークスペースの充実、公民館は個人利用可への要望など滞在場所としてのニーズがある。 - 図書館や公民館は、カフェや個室の作業スペースなど多目的に利用できる機能が必要	■ 未来の公共施設は、どのような場所にあったら良いか - 市内6か所程度のコア施設を配置 ⇒新庁舎は行政・福祉機能の拠点、コミュニティ創造の拠点を東小金井駅前と武蔵小金井駅前に整備し、学生含め市民、市外の方が交わる場とする。 - 中学校を核として周辺に様々な機能を持った施設を配置 - 特定利用目的は駅前でなくて良く、駅近は交流機能や附帯の行政サービスを配置
	- ニーズが多様化している。具体的な目的をもった場よりも居場所を求めている。 - みんなの居場所の実現のために人と人をつなぐ機能（コーディネーターやコンシェルジュ）は欠かせない。 みんなの居場所 人と人をつなぐ機能	- 市民利用に供する施設では、自由に過ごせる場所で特定の目的がなくても立ち寄れるような、滞在場所でもあり、多世代交流が可能となる機能・インクルーシブな施設が求められている。 - なくなったら困るものの、あまり利用されていない施設が市内に多く見られ、地域の課題解決につながるような施設としてその利用・活用方法を見直すことが必要と考えられている。	- 武蔵小金井駅をはじめとする駅前や駅周辺にコア施設があり、既存の公民館（センター）もしくは中学校などを核とした地域拠点を配置するといった考え方が示されている。 - 駅前・駅周辺施設は、市内外の交流が可能な交流機能と行政サービス機能等を附帯させた利便性の高い施設が求められている。

1、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 目的・実施概要

(3) 結果概要

	第3回		
テーマ	私たちの考えるこれからの公共施設		
班	1班	2班	3班
キャッチフレーズ	つながり育てるみんなの『庭』 ＝市民の主体的な交流を促進し、未来のニーズに応える施策の提案＝	“時代のニーズに合わせた機能転換を図っていく” ＝認め合い、支え、繋がり いきいきと暮らそう＝	小金井に居続けたいと思う コミュニティネットワークが生まれる場所
目指す姿や方針、公共施設のこれからの在り方など	● 未来への視点 3つの必要要素：つなぐ人、つなぐ機能、つなぐ体制 ● 視点からのコンセプト（行政がやるべきこと） ①つながることを手伝う ②つながらない自由を尊重する ③目的・テーマにこだわらない ● 新施設とセットでやるソフト施策等について ①つなぐ人をふやす ②交通手段の整備 ③取り組みの姿勢について ・プロトタイピング＋走りながら考える。 ・短いスパンで振り返り、見直しを行う。 ・「余白」を持つ施設、常に進化・成長していく。市民（利用者）が施設をつくっていく	● 人（市民）・文化・市民の活動をつないで社会に広げていく ・地域をよく知るコーディネーター/有識者/まちづくりプランナー なども配置する ・市民を巻き込み、持続的な活動を促す ● 地域拠点施設（コア施設）を設ける ● 各々の状況・ニーズに合わせて利用施設、利用方法を選択できる ● 誰もが公平に、気軽に利用できる ● これからのまちづくりを考える場を設ける	● 小金井に居続ける（住み続ける）理由になる公共施設 ● 「交流」コミュニティをつくるキッカケになる ● 誰でも使用できる ● 事業としての持続可能性が確保されている
配置の考え方・イメージ	● 場所が大がかりな施設は、両駅付近に配置。他は小学校区・中学校区をベースに配置。 	● 地域拠点（コア施設）は5つ（中学校区：東/北東/北西/中/南）各拠点に機能を集約する 	● イベントなどが実施される拠点施設には大きな駐車場を配置する ● 駅前など利便性の高い場所に、自由に出入り/交流、無人予約受取り図書館、移動型行政サービスのような簡易的スペース ● 徒歩圏内の人が集まる範囲に集会所のような施設は必要

2、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 第1回結果概要

(1) ワークショップの様子

市長挨拶



白井市長から少子高齢化に向け公共施設をどう整備・整理していくか、在り方を考えていく時期にきていることを参加者に説明。公共施設は市民にとって重要な施設であり、皆さんが日頃、利用の際に感じていることなどを出していただくこと、参加者の交流の機会となることを期待している、と挨拶しました。

市の公共施設に関する現状等の説明

公共施設マネジメント推進担当課長より、市の公共施設に関する現状やこれまでの検討経過、平成28年に実施した小金井市公共施設等に関する市民アンケート調査結果や、現在進めている「公共施設在り方検討委員会」の検討における論点等について、参加者に説明しました。

アイスブレイク

ワークショップに入る前に、グループごとに自己紹介を実施。1班では今年の推し・一番うれしかったことをテーマにお話しをいただき、始めから盛り上がりました。互いのことを少し知って意見交換の準備ができました。

ワーク1



まずは「普段どのような公共施設を使っていますか」では、施設のみならず公園や公共のスペース、そもそもどこにあるか分からないといった声も…。ワークが進むにつれて緊張が解け会話も増えてきました。「行きたくなる・使いたくなる公共施設、未来の公共施設で何がしたいか」では、多くのアイデアが出されました。

ワーク2



発表



総評



最後に神山副市長・高橋庁舎建設等担当部長より総評。
2グループが異なるアウトプットになったことが非常に興味深い。グラデーションのあるつながり、また地域につながる人はたくさんいて、行政とどうつながりまちづくりをすすめていくか、一緒に考えていかないといけない。庁舎移転や武蔵小金井駅北口再開発など小金井市のまちが大きく動く時期でもあり、ぜひご協力いただきたいと総評をさせていただきました。



テーマ

必要な公共サービスって
なんだろう？
未来の公共施設で
何をしてみたい？



ワーク1 で出たアイデアをグルーピングして整理します。
メンバーが積極的に加わり、次々とカテゴリー別に割り振られていきました。

各班を代表して、お二人に各班で出されたアイデアや意見、特徴的な内容を発表していただきました。発表後には質問時間を設け、闊達な意見交換が行われました。

2、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 第1回結果概要

(2) ワークショップの結果まとめ

ワーク1

公共施設の利用状況

- 日常的に利用している施設としては、図書館やスポーツ施設
- イベント等の利用では、集会施設、公民館や学校利用

日常的には図書館やスポーツ施設などの定期的な利用が多く、一方で、イベント等のスペースが必要とされる活動では集会施設等が利用されている。

- 他市施設では「武蔵野プレイス」を利用
- 建築系施設ではない公園や公共スペースとして駅前広場やスーパーなど

4市相互利用で使える武蔵野プレイスの評価は高い。また、高齢者や障がいのある方の社会参加や外出の機会をさらに促進するためユニバーサルベッドのあるトイレの普及が施設利用の前提になる等の声もあり、時代に合わせた設備の整備も求められている。

- 公共施設がどこにあり、どのような機能を持っているのかわかりにくい

公共施設の情報の発信方法についても検討が必要と考えられる。

ワーク2

必要な公共サービスってなんだろう？ 未来（20年後ぐらいまで）の公共施設で何をしてみたい？

【1班 発表内容】

- 公共施設に必要なプログラム、公共施設で実現できるものをインフラや食・カルチャーなどにカテゴライズ。共通するのは**継承していく人がいないと、使われない施設・市民から離れた施設になりかねないこと**。
- **キーとなるのはつなぐ・まとめる人**であり、そのような人が居たうえで、アイデアとして出されたプログラムを実現していくことが大事である。

【2班 発表内容】

- **世代によって使い方、また、コミュニティの度合いも変わっていく。**
- 大人になるにつれ利用割合は減っていくものの、一方で高齢者や未就学児は目的がなくとも使うことができ、**地域・社会と多くのつながりを持つことができる公共施設**が求められている。

【意見交換】

様々なカテゴリの機能やサービスをつなぐ役割の方がいて、つなぐ機能が発揮されることで、目指すべき姿が実現される。多様性を認め、暮らしの一部となる施設。

世代や立場によって分けるのではなく、横のつながりも大切。またそれぞれの活動範囲は異なることから、コミュニケーションの度合いによって求められる場の提供が必要。

最終的には人であり、人を巻き込む、地域の皆で作っていく。市民参画を促すために市民への周知も大切。

- ニーズが多様化している。**具体的な目的をもった場よりも居場所を求めている**。理由がなくても利用できる場、そこで子どもも高齢者も若い方も、世代や立場に関係なく、集い交わることでイノベーションが起きる。
- まちづくりの側面から見ても、地域に開かれた施設であることが大事。ハード面だけでなく、みんなの居場所の実現のために**人と人をつなぐ機能（コーディネーターやコンシェルジュ）**は欠かせない。

みんなの居場所

人と人をつなぐ機能

3、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 第2回結果概要

テーマ

みんなのやりたいを
実現するために
必要な機能を考えよう

(1) ワークショップの様子

開会



公共施設マネジメント推進担当課長から
闊達な意見交換をおねがいしたいと挨拶。
第2回から新たに参加してくださった方も
加わり、第2回ワークショップがスタートしま
した。

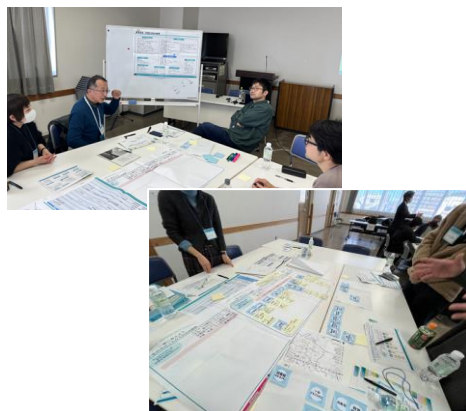
前回の振り返り

はじめに第1回ワークショップの振り返りを行いました。

第1回では「必要な公共サービスってなんだろう？ 未
来の公共施設で何をしてみたい？」をテーマに2グ
ループで意見を出し合いました。「具体的な目的を
もった場よりも居場所を求めている。」「みんなの居
場所の実現のために人と人をつなぐ機能（コーディネ
ーターやコンシェルジュ）は欠かせない。」といった意見
が出され、これからの公共施設の在り方として「みんなの
居場所」「人と人をつなぐ機能」が共通のキーワードと
して導き出されたことを説明しました。



ワーク1



皆さんの「〇〇したい」を叶える「みんなの
居場所」や「人と人をつなぐ機能」を実現
するために必要な、これからの小金井市
の公共施設の機能について話し合いま
した。

2回目とあり、参加者の皆さんが主体と
なって積極的に意見交換が行われました。

ワーク2



ワーク1で求めた機能等について、市内の
どのような場所にあったら良いか、エリアの考
え方や配置の諸条件等について話し合い
ました。

ワーク2では既存の公共施設の施設配置
図も参考に、東小金井駅北口まちづくり事
業用地の「東小金井駅北口まちづくり事
業用地整備活用計画」にも触れながら、
機能の在り方・配置についてアイデアをいた
だきました。

発表



各班を代表して、3名の方に各班
で出されたアイデアや意見、特徴
的な内容を発表していただきました。
発表後には質問時間を設け、闊
達な意見交換が行われました。

総評

最後に神山副市長より総評。「沢山の意見が出され、聞いていてとても楽しい会とな
っている。いただいた意見をしっかり聞いてより良いものにしていきたいと考えている。次回も
多くの意見を出していただくようご協力をお願いしたい。」と総評をさせていただき、閉会と
なりました。

3、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 第2回結果概要

(2) ワークショップの結果まとめ

ワーク1

今後（未来）の小金井市の公共施設の施設・機能について一緒に考えよう。

【1班 まとめ】

- ・ 既存施設前提で議論を進めると、今ある施設の改善案しか考えられない。人と人がつながるには…という機能を考えた上で、どのような施設が必要かを検討すべき。
- ・ **フードコートのような目的がなくても寄れる、人を機能別に分けられないリビングのようなインクルーシブな施設**が望ましい。
- ・ そこには①**誰もが寄れる「場の機能」**、②**行政の事務窓口や相談窓口をはじめとする「行政機能」**、③**「市民活動支援機能」も有する管理・運営**が必要。
- ・ 個別機能としては、学校プールの集約化や保養施設を今後も市で保有し続けるのか、考えていくべき。

【2班 まとめ】

- ・ 教育施設は、**施設の共用化や今後空き教室が出てきた際の利用**について検討すべき。(例:高齢者施設との複合化等)。
- ・ 子育て支援施設は、児童館よりも学童施設利用が増加傾向にあり、受入の環境整備が必要。保育園は複合化などによる多世代交流が可能な場にしていく。
- ・ スポーツ・レクリエーション施設は、プールの学校授業での利用や、利用者が固定されず新規利用者が増加するようなサービス導入等が必要。特に保養施設は、**なくなったら困るけれどあまり利用しない。そのような施設が多く見られるのが課題**と認識している。
- ・ 図書館はワークスペースの充実、公民館は個人利用可への要望など**滞在場所としてのニーズ**がある。
- ・ 高齢者施設の一室で会議を行うなど、高齢者問題について議論しやすく**地域の課題解決につながる施設配置**なども検討すべき。

【3班 まとめ】

- ・ スポーツ・レクリエーション施設は、駅から遠く利用しづらさがある。また、保養施設は民間活用も検討すべき。
- ・ 子育て支援施設は、天候に左右されず、また休日利用も可とする施設が必要。
- ・ 図書館や公民館は、**カフェや個室の作業スペースなど多目的に利用できる機能**が必要。
- ・ 駅から遠く利用しづらい施設もあることから、車利用を可能とする駐車場は必要。
- ・ 東小金井まちづくり事業用地の東小金井の居間（リビング）は、対外的にも魅力的な施設となることが望ましい。

- 市民利用に供する施設では、自由に過ごせる場所で特定の目的がなくても立ち寄れるような、**滞在場所でもあり、多世代交流が可能となる機能・インクルーシブな施設**が求められている。
- なくなったら困るものの、あまり利用されていない施設が市内に多く見られ、**地域の課題解決につながるような施設としてその利用・活用方法**を見直すことが必要と考えられている。
- 学校プールの集約化や総合体育館のプールの学校授業での利用といったプール施設に関する意見が多く出されている。また保養施設についても今後の保有について言及がなされている。

3、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 第2回結果概要

(2) ワークショップの結果まとめ

ワーク2

未来の公共施設は、どのような場所にあったら良いですか

【1班 まとめ】

市内6か所程度のコア施設を配置

- 新庁舎は行政・福祉機能の拠点、**コミュニティ創造の拠点を東小金井駅前と武蔵小金井駅前に整備し、学生含め市民、市外の方が交わる場**とする。
- **既存の公民館（センター）は地元の人中心に多世代でつながる地域の場**とする。
- 基本的に、機能と利用者を限定せず、人がつながれる要素を持ち合わせる施設とする。
- **はけの存在**は移動の際の課題であり、交通手段の確保などの対策は必要。

【2班 まとめ】

中学校を核として周辺に様々な機能を持った施設を配置

- 高齢者施設（包括センターやいこいの部屋）を一緒に配置することで多世代交流を図る。
- 中学校区毎に2～3校の小学校を配置。あわせて、**多機能（児童館・公民館・図書館）なコミュニティセンターのような施設をそれぞれの核に配置**する。
- 多世代が利用しやすいよう、多機能をまとめて配置し、**複合化やスクラップ&ビルド**を図る。

【3班 まとめ】

特定利用目的は駅前でなくて良く、駅近は交流機能や附帯の行政サービスを配置

- 庁舎や公民館や図書館など、特定の利用目的の施設は、**一概に駅近くにある必要はない**。ただし、駐車場が十分に備わっていることが必要。災害時の視点からも、**拠点となる施設には必要**。
- **駅近には、交流を目的として誰もが気軽に使える施設**とし、子育て支援施設や行政サービス機能等を附帯させた利便性の高い施設とする。

- 武蔵小金井駅をはじめとする駅前や駅周辺にコア施設があり、既存の公民館（センター）もしくは中学校などを核とした地域拠点を配置するといった考え方が示されている。
- 駅前・駅周辺施設は、市内外の交流が可能な交流機能と行政サービス機能等を附帯させた利便性の高い施設が求められている。
- 地域の住民が主体となる居場所や交流の場を作るか、市内外を問わず多様な人々の居場所・交流を促す場とするか、目的に応じた施設配置の在り方を検討する必要がある。
- なお、配置検討にあたっては交通支援が必要な方等への交通手段の確保などの対策が求められている。

3、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 第2回結果概要

意見交換

各班のまとめに関して



各班とも、「人と人がつながれるきっかけを与える場所」というのは前提で考えている。

運営・管理に関するご意見

- 多世代交流の場所と位置付けて作るのみならず、本当に交流が生まれているのかという検証も必要だと思う。
- 集まればつながるものではない。
- 公民館や自治会で活動している人は多くいる。カギになるのは人だろう。
- 市民は、利用者・参加者でなく、参画するに意識を変えていく。



居場所に関するご意見

- 強制的につなげる必要はない。ソフトなつながりで良く、好きに自由に過ごせる場とする。
- 人依存は難しいものの、関わりたい人は関わる、一人でいたい人はいれる。強制はしない場であることが必要。そのような場のグラデーションをつくる。
- 市民活動が見えるようなオープンなスペースにする。人の目に触れられ、参加のきっかけとなるような場にする。
- 宮地楽器ホールは、駅前にあるが使われ方に改善の余地はあると思う。



施設配置に関するご意見

- 活動している人だけが地域の人ではなく、住んでいる人が地域の人である。何かをしたい人を対象とするのではなく、利用しないといけない、必要があるといった人のためのものが公共施設。
- 一部のリピーターのみならず、地域に住んでいる人にとって利便性のある場所とすべき。なので、駅前に限定するべきではない。



4、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 第3回結果概要

テーマ

私たちが考える
これからの公共施設

(1) ワークショップの様子

市長挨拶



白井市長より、開会の挨拶をさせていただきました。

前回までの結果として、「公共施設は、みんなの居場所であり、人と人がつながる機能が必要であること、そして誰もが自由にいることのできる場であってほしい。」といった報告を受けている。

市では現在インクルーシブに配慮した公園づくりを進めており、公園にかかわる様々な方々のご意見を聞きながら整備方針を定めてきた。

皆さんからいただいたご意見をうまく整理し、今後の検討に活かしていきたいと思う。皆さんの様々なご意見を楽しみにしている。

前回の振り返り

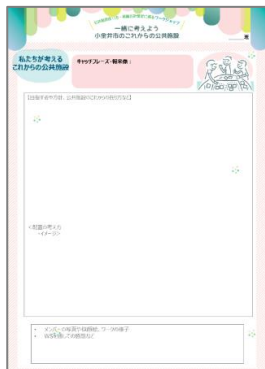
はじめに第2回ワークショップの振り返りを行いました。

ワーク1：自由に過ごせる場所で特定の目的がなくても立ち寄れるような、滞在場所でもあり、多世代交流が可能となる機能・インクルーシブな施設など。

ワーク2：武蔵小金井駅をはじめとする駅前や駅周辺にコア施設があり、既存の公民館（センター）もしくは中学校などを核とした地域拠点を設置をする。

といった機能誘導・施設誘導に関するご意見をいただいたことを説明。

ワーク



「私たちが考えるこれからの公共施設」として、第1回からのWSを通して皆さんが考えるこれからの公共施設のキャッチフレーズ、目指す姿や方針・在り方についてとりまとめました。

皆さんにはこれまでのワークショップを振り返り、改めて感じることやアイデア等について事前検討をお願いしたところ、多くのアイデアを整理してきてくださりスムーズに進めることができました。

ご協力ありがとうございました。

ワーク



アイデアが次々と出され、ワークシートが埋まっていきます。

発表

各班を代表して、3名の方に「私たちの考えるこれからの公共施設」について、キャッチフレーズや今後の在り方、施設や機能配置の考え方などについて発表していただきました。



総評



神山副市長

話し合い、意見交換しながら進めることの大事さを改めて感じるとともに、回を重ねるごとに議論が深まっていく過程を見る事ができ、非常に良かった。学校施設の建替え、新庁舎整備等、市としてどのように想いを実現するのか考えるフェーズだと思っている。小金井市はまだまだ伸びしろ（余白）のあるまちであり、ワクワクするまちを一緒につくってきたい。

白井市長

共通するキーワードは「つながり」「コミュニティ」「居場所」だったのではないかなと思う。公共施設は、つながりを生み育む機能を市民の皆さんから求められている、と改めて気づかされた。公共施設在り方・再編のWSにも拘わらず、公共施設はハコモノではなく、やはりソフト機能と、たどり着くことが非常に面白く、また居場所がテーマになる時代と感じた。今回のWSをふまえ、本質的に何が求められているか考え、公共施設在り方検討委員会でも議論いただきながら、今後の公共施設在り方・再編方針としてとりまとめていきたい。全3回にわたり多くのご意見・ご提案をいただきありがとうございました。



4、公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ 第3回結果概要

(2) ワークショップの結果まとめ

ワーク

私たちの考えるこれからの公共施設

【1班 まとめ】 つながり育てるみんなの庭

- ・単にハードの公共施設を提供するだけでなく、場づくりを促進するソフト、考え方を提供していくべき。
- ・未来への3つの視点「つなぐ人」、「つなぐ機能」、「つなぐ体制」を踏まえ、「①つながることを手伝う」、「②つながらない自由を尊重する」、「③目的・テーマにこだわらない」をコンセプト（行政がやるべきこと）とする。
- ・行政の考え方や姿勢・取組みが市民に伝わることで行政への関心も高まり、効率的・効果的な施策や事業が打てるといった行政運営が可能になる。
- ・多様な過ごし方でみんなが共存できるフードコート型の空間と、キッチンやダイニング、Wi-Fi等を基本設備とする。
- ・新施設は「基本設備」に図書館、スポーツ関連、各種相談、ケア関連などの個別機能をそれぞれ付随させる。
- ・空間や機能に余白をもった施設とする
- ・プロトタイプをつくり、走りながら考える。
- ・民間活用や市民活用によりつなぐ人を増やす、育てる。
- ・集会施設等は段階的に集約し、交通手段の整備もセットで検討。

<施設配置の考え方>

- ・市内6か所程度のコア施設を配置。大規模な施設は、武蔵小金井駅、東小金井付近に配置。他は小学校区・中学校区をベースに配置。

【2班 まとめ】

時代のニーズに合わせた機能転換を図っていく

- ・人や小金井市の歴史、これまでの人々の活動をつないで社会にひろげていく。
- ・当初はまちづくりプランナーなどを配置し市民を巻き込み、持続的な活動を促す
- ・目的のある人もない人も利用できる開放的な場であり、各々のニーズに応える場・機能を整備する。
- ・オンライン、各エリアのコア施設、駅近施設など、それぞれの状況に応じて利用方法を選択できる。
- ・気軽に話し合いに参加できる、認知してもらえる場所でまちづくりを考える。単発でなく持続的に話し合える。

<施設配置の考え方>

- ・地域拠点（コア施設）は5つ（中学校区：東/北東/北西/中/南）
- ・各拠点に機能を集約する（学校教育/市民文化/社会教育/子育て/スポーツ/保健福祉/行政等…）

【3班 まとめ】

小金井に居続けたいと思う

コミュニティネットワークが生まれる場所

- ・誰でも使用でき、管理コストのかからないオープンスペースとして、1対1のコミュニケーションやグループ活動などコミュニティの多様生に対応でき、そこからコミュニティや活動が広がる仕組みづくりが必要。
- ・コミュニティネットワークができることで、小金井市に住み続けたいと思えるような役割を公共施設が担う。
- ・働き方や過ごし方も変わってくるので、ニーズに応じていくために、市民が考え意見交換し続け、まちづくりについて考えることが必要。
- ・安全性・プライバシーを確保しつつ、予約や利用者登録などの煩雑は手続きなく誰でも利用できる場
- ・運営のあり方に加え、利用者の交通手段も考慮された施設。
- ・拠点施設には屋根付きの人工芝広場があるとよい

<施設配置の考え方>

- ・徒歩圏内で人が集まれる集会所のような施設は必要
- ・駅前など利便性の高い場所に、自由に出入り/交流、無人予約受取り図書館、移動型行政サービスのような簡易的スペース

- 公共施設として、場の提供だけではなく、**つながる仕組みづくり**に関する提案が多くみられ、**つなぐ人、つなぐ機能**が求められている。
- 施設配置の考え方としては、**武蔵小金井駅・東小金井駅の両駅**には行政機能のみならず、交流機能や自由に過ごせる空間等を附帯させた**利便性の高い施設**が求められている。
- 地域の人が日常的に利用できる地域拠点としては、市民が馴染みやすい**中学校区等を基準とした配置**が提案されている。

公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ

一緒に考えよう
小金井市のこれからの公共施設

私たちが考える
これからの公共施設

キャッチフレーズ・将来像：
つながり育てるみんなの『庭』

= 市民の主体的な交流を促進し、未来のニーズに応える施策の提案 =



1. 1班の現状認識と課題感

- ・ 人やコミュニティのつながりの希薄化・たこぼ化・孤立化
- ・ 個々人の地域への課題認識はあるだろうが、つながりによる課題認識の共有や主体的な行動の醸成ができていない
- ・ 地域への関心引いては市政の関心も薄れているかもしれない
- ・ 行政がやるべきことは単に場所を提供するのではなく場づくりを促進するソフトを提供していくべき
- ・ つながることを助け、育み、「人」という「点」を繋げて「線」に、さらに「面」としていく政策が必要

2. 未来への視点 3つの必要要素：つなぐ人、つなぐ機能、つなぐ体制

3. 視点からのコンセプト（行政がやるべきこと）

① つながることを手伝う

② つながらない自由を尊重する

- 人と人 人とコミュニティ、コミュニティとコミュニティ それぞれが繋がるルートを作っておく
- つながりの発生を見守る・手伝う
- コミュニティの創生を見守る・手伝う

③ 目的・テーマにこだわらない

- ・ つながるルート・体制が良好に整備されており、望めば利用できることを市民が知っている状態であるとよい
- ・ その状態を行政やコミュニティ当事者が意識して整備していけばよい
- ・ 行政側のこうした考えや姿勢、取り組みが将来的に市民にも浸透していくことが望ましい
- ・ 市政への関心が向上し、市民ニーズ把握の解像度が向上する可能性がある
- ・ それによって行政がピンポイントで施策や事業を打つことも可能になる

4. 未来の施設へ（新施設について）

- コンセプトを公共施設として具現化するには、既存の施設での対応は困難かもしれない
- そのため新しい仕組み（ここでは「新施設」と呼ぶ）が必要

メイン設備 1（参考モデル：フードコート＝みんなのもの）

- ・ フードコートはそれぞれの人やグループが、それぞれの店で買った食事をそれぞれの席で分かれて食べる
- ・ 一つの広いところにそれぞれ分かれて座っているが、お互いの様子は見える
- ・ （やろうと思えば、お互いがよければ、）お互い関わることができる
- ・ また、フードコートは特定の人占有することはできない ⇒そのイメージをモデルにする

メイン設備 2（イメージ：人や動物がそれぞれに存在・共存している「庭」のようなもの）

- ・ 一つのオープンスペースの中でそれぞれ活動したり、ただボーっとしていたり、本を読んでいたりする。あえて壁をつくらない
- ・ 個人やグループやコミュニティが共存している空間。それが自然な状態。
- ・ それぞれが望めば、つながることも出来る。つながることを手伝う人もそこにいる
- ・ 物理的な壁を取払うことで自然な共存と交流を可能にしつつ、個別ニーズも配慮。またオンライン参加「も」可能に。
- ・ 1人になりたい人、静かに食事をしたい人などに向けた専用スペースも設ける。壁が必要な場合のために旧来のスペースも設ける。あぐらをかける場所も必要かも。

ほかの設備

- ・ 一般的な家もっている設備をもつ（屋根、キッチン、リビングやダイニング（前述の「庭」）Wi-Fiなどのインフラ）
- ・ 設備や什器を使うので、利用者間の一定の自治が必要かもしれない（自由でありつつも無秩序にならない）

基本と派生

- ・ 新施設は「基本設備」としてここまで述べた設備をすべて持っている
- ・ これに図書館機能、スポーツ関連機能、各種相談、ケア関連などの個別機能をそれぞれ付随させる
- ・ 余白づくり、選択肢をふやすためにも、入りきらない機能は例えば移動図書館などで補う

5. 新施設とセットでやるソフト施策等について

①つなぐ人をふやす

- これまで以上のマンパワー、スキルが必要になるかもしれない。行政だけではなく、民間活用や市民の活躍が望まれる
- 専門家に監修してもらい、つながることを手伝う人や、コミュニティをつくる人を育てていく

②交通手段の整備

- 既存集会施設や公民館を段階的に解消し新施設に集約するならば、交通手段の整備をセットで考える必要がある
- 逆に交通手段を整備し交通利便性を高めることで、様々な集約化を進められる可能性も（例：富山港線のLRT化）
- 隣接市のコミセンなどとの連携もできたら良い。複数市との「面」的な交通の連携ができれば、新たな可能性が広がる。小金井市が多摩東部のターミナルになるかもしれない。

③取り組みの姿勢について

- プロトタイピング＋走りながら考える。プロトタイプ案をいくつかつくる。その中から一つを施策として実行する
- 並行してプロトタイプ案を増やしたり、考え続ける。さまざまな社会情勢や環境変化のモニタリングの継続が必要。既存の施設を使って試験運用する方法もある
- 短いスパンで振り返り、見直しを行う。それまでに考えていたプロトタイプ案の一つに切り替えても良い
- 1から作り上げてよいが、プロトタイプ案がいくつかあれば思考のギアが数段上がった状態から考えることができる
- 新施設はこれからの変化に柔軟に対応することができる、ガチガチに固めない、「余白」を持つ施設にしたい
- 常に進化・成長していく。市民（利用者）が施設をつくっていく

④新しい世界観の認知・周知

- これまでの考え方とは異なる、新しい世界観、新しい価値観、新しい認識を持続して忍耐強く広める必要がある

6. 施設配置の考え方について

- 場所が大がかりな施設は、両駅付近に配置。他は小学校区・中学校区をベースに配置。
- 小学校の建替と連動して一部機能を学校に持たせることも検討。校区ごとの人口動態の分析も必要かもしれない
- 交通手段の整備・検討も必要。その他、物理的な距離を補完するために、図書館の遠距離貸出、図書予約制度の利用度向上、講座・集会のオンライン＋リアルハイブリッド開催を可能とする仕組みの導入
- 移動図書館等を導入して、おすすめ図書、文字に親しむ機会、本に出合う機会、本に触れる機会等を増やす

- 市内6か所程度のコア施設を配置
- 多世代交流を促すコンシェルジュの配置

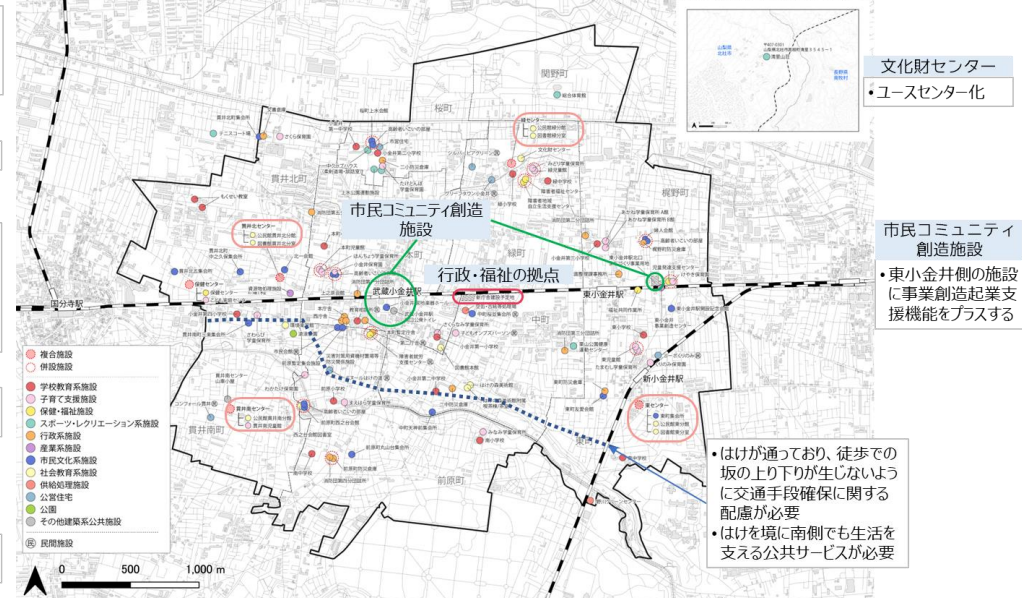
- 行政・福祉の拠点
- 新庁舎、新福祉会館

- 市民コミュニティ創造施設（2）

- 東小金井駅北口まわりの事業用地、武蔵小金井駅周辺の2箇所
- 地域住民に限らず、市内外の方の利用も想定

- 地域拠点（4）
- センターが地域活動の拠点

- 学校＋集会所
- 地域拠点のサブ機能施設



■ワークショップを終えての感想

- これを「理想論」と片づけず、考えを引き継いでもらいたいです！
- 現状の改善に陥ることなく、あるべき姿から現状を変えていく「バックカasting」を行って検討をして欲しいです
- あーだこーだしている所からオープンに
- 部署を越えて一緒に取り組みたい
- 一から考えたいというメンバーの要望も受け止めてくださったおかげで、議論を一から組み立てることができました。
- 「それは理想だね」で終わらせないで
- 断ち切れにならないで欲しい
- こういうWSを開催する時に、より多くの市民が参加できるような工夫をして欲しい
- 「余白」を残せるような成果設定をして欲しい
- ディレクターを入れて下さい
- 大事なことってめんどくさいんです



公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ

一緒に考えよう
小金井市のこれからの公共施設

私たちが考える
これからの公共施設

キャッチフレーズ・将来像：

“時代のニーズに合わせた機能転換を図っていく”

= 認め合い、支え、繋がり いきいきと暮らそう =



【目指す姿や方針、公共施設のこれからの在り方など】

◆ 人（市民）・文化・市民の活動をつないで社会に広げていく

- ・ 地域をよく知るコーディネーター/有識者/まちづくりプランナー など配置する
- ・ 市民を巻き込み、持続的な活動を促す（コーディネーターのみに任せるのではない）

◆ 地域拠点施設（コア施設）を設ける

- ・ 徒歩＋自転車圏域ごとに配置する
- ・ 多世代交流を促す環境とする

◆ 各々の状況・ニーズに合わせて利用施設、利用方法を選択できる

- ・ 交流/一時休憩/自習など、様々なニーズに応える施設を整備する
- ・ オンライン/各エリアのコア施設/駅近施設など、状況に応じて利用方法を選択できる（ex.行政手続き）

◆ 誰もが公平に、気軽に利用できる

- ・ 目的がない人でも出入りできる環境とする
- ・ 開放的な雰囲気づくりを行う

◆ これからのまちづくりを考える場を設ける

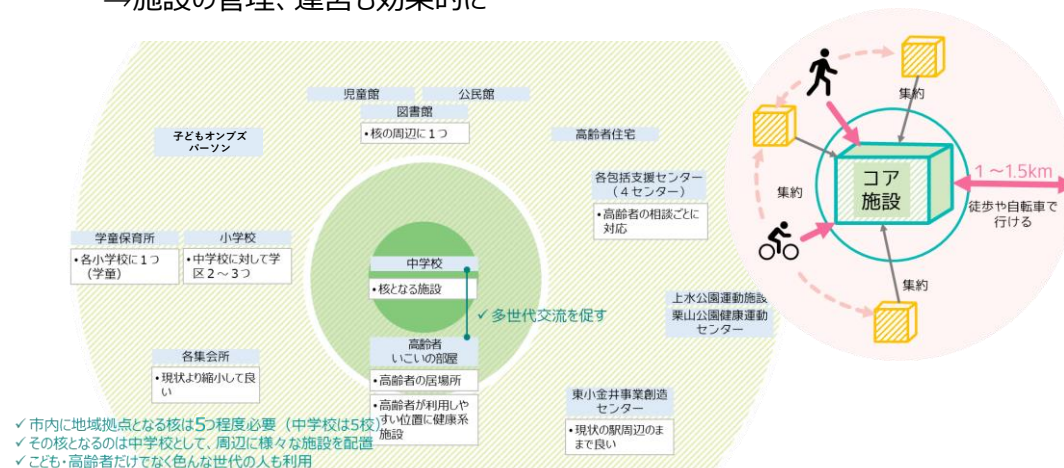
- ・ 気軽に話し合いに参加できる場所、通りがかりの人も認知できる場所に設ける
- ・ 単発イベントではなく、持続的に話し合えるような環境づくりを行う

＜配置の考え方・イメージ＞

- ・ 地域拠点（コア施設）は5つ（中学校区：東/北東/北西/中/南）
- ・ 各拠点に機能を集約する（学校教育/市民文化/社会教育/子育て/スポーツ/保健福祉/行政等…）

⇒コア施設に行けば様々なニーズが叶うようにする。利便性向上を図る。

⇒施設の管理、運営も効果的に



■ ワークショップを終えての感想

- ・ 自分達が住む町のことを皆で話し合うことで、将来まで続くまちづくりにつながると感じた。
- ・ WS参加者以外の方にも、まちの課題には関心を持って欲しい。



公共施設在り方・再編方針策定に係るワークショップ

一緒に考えよう
小金井市のこれからの公共施設

私たちが考える
これからの公共施設

キャッチフレーズ・将来像：
小金井に居続けたいと思う
コミュニティネットワークが生まれる場所



【目指す姿や方針、公共施設のこれからの在り方など】

■ 小金井に居続ける（住み続ける）理由になる公共施設

- 魅力ある公共施設があることで、小金井に住み続けたいと思えるように

■ 「交流」コミュニティをつくるキッカケになる

- コミュニティの“多様性”に対応できる施設
- グループ（サークル）活動も、一人でも参加できる空間のある施設
- “来る”キッカケ、1対1の交流が生まれるキッカケ、くつろげる施設
⇒貸館施設の1室を解放し、一人でも利用できる空間とし、そこに来る人同士が繋がるような仕組み、仕掛けをつくる
⇒一人利用、グループ利用など、コミュニティの形にあわせて利用のバリエーションがあることで、一人一人が自分にあったコミュニティに参加できる。

■ 誰でも使用できる

- 予約なしに使うことのできる、オープンなスペースがある
- 利用者登録などの煩雑な手続きがなく、使いやすい
⇒誰でも使用できる反面、利用者の安全とプライバシーの確保が課題

■ 事業としての持続可能性が確保されている

- 人員をかけずとも成り立つ運営の仕組みがある
- バスや車ユーザーの動線も考慮されている
- 広域に人が集まる“拠点”には駐車場を

＜配置の考え方・イメージ＞

- 徒歩圏内の人が集まる範囲に集会所のような施設は必要。集会所の1室は予約なく誰でも出入りできる部屋とし、1対1のコミュニティが出来上がる（知り合える）場所にする。コストをかけない運営をするが、人と人が繋がれるよう、ちょっとした“工夫”をする（カードゲームを置く、冷蔵文庫（古い冷蔵庫を利用した本の交換サービス）を置くなど）
- イベントなどが実施される拠点施設には大きな駐車場を配置する
- 駅前など利便性の高い場所に、自由に出入り/交流、無人予約受取り図書館、移動型行政サービスのような簡易的スペース（福祉共同作業所跡、宮地楽器ホール マルチパースペースD）
- 拠点施設に屋根付きの人工芝広場があれば、雨/猛暑の中でも子どもと遊ぶ、イベントができるスペースになり、屋内型よりも管理費が抑えられる（例：ららぽーと名古屋みなとアクルス/立川高島屋屋上/虎ノ門ヒルズオーバル広場など）

■ ワークショップを終えての感想

- 自分の意見を言える場となって、楽しかった。
- 色々な人の意見を聞くことができて勉強になった。



公共施設の利用状況

どのような施設をいつ・どう・だれと利用している？

市内 建築系公共施設

図書館

- ・ 東町図書館：週末本を借りに行く
- ・ 図書館：本の貸し出し
- ・ 第一小横の図書館：ユニバーサルベッドがあるトイレ利用

スポーツ施設

- ・ プール：毎週煩惱スイム108本

集会施設

- ・ 集会施設：イベント利用

児童館

- ・ 餅つき、子ども縁日

公民館

- ・ 貫井北センター：ミニ小金井
- ・ 緑センター：地元の子ども縁日イベント

学校施設

- ・ 第三小学校：遊びイベント、焼き芋、お泊り会

市内 公共スペース

駅等

- ・ 駅前：電車を見る
- ・ 新小金井駅前の広場：週末地域のイベント、催しものを見る
- ・ バス乗り場：武蔵小金井駅、東小金井駅、新小金井駅

スーパー

- ・ イトーヨーカドー：フードコート（車イス利用お昼ご飯）
- ・ イトーヨーカドー：ユニバーサルベッドがあるトイレの利用

公園

- ・ 浴恩館公園：BBQパーティー、遊び
- ・ 野川公園：週末散歩、ランニング
- ・ 公園：ユニバーサルベッドがあるトイレの利用
- ・ 梶野公園：遊び、おまつり

その他

- ・ 市民掲示板：自身の開催イベントの告知
- ・ 笠森稻荷：週末ランニング後にストレッチ
- ・ ユニバーサルベッドのあるトイレ

その他

- ・ 近所、スーパー：散歩（車イス利用）
- ・ エレベーター、スロープ、駐車場、トイレがあるところ

他市施設

- ・ 武蔵野プレイス：週末コーヒーを飲みながら本を読む
- ・ 武蔵野プレイス：平日AMテレワーク

利用しない

- ・ そもそもどの公共施設がどのようなものか分かりにくい
- ・ 場所がわからない

その他

必要な公共サービスって
なんだろう？
未来の公共施設で
何をしてみたい？

インフラ

- ・ 場を保持（市民が集まれる）
- ・ インターネットWi-Fi
- ・ 地域と学校が交流→調理室や家庭科室など、共用プール
- ・ ワークスペース、リモートワークができる
- ・ 公園の横で共同炊事、みんなで食事
- ・ 受付の対応が温かい
- ・ 必要なものを交換、回せる場（交換会）
- ・ 「障害者」センターとかネーミングを変えたい
- ・ 気軽に通える、体を動かせられるような施設
- ・ サイクリストに優しい街（道、スタンド、立ち寄れる）
- ・ 公園に日よけが欲しい（夏場、肢体不自由）
- ・ 汚れてもいい場（子供遊び）
- ・ 浅い水場
- ・ 障がいのある人がオムツを付けていても遊べるプール

目指す姿

- ・ まぜこぜ
- ・ 人の視線が分散される場
- ・ 誰の子？誰が親？おじいちゃん、おばあちゃんが分からない場
- ・ 「あれダメ、これダメ」言わなくていい場
- ・ 過ごし方を強制されない
- ・ 少しの対価があり、達成感を感じられる
- ・ 日々の暮らしの一部に
- ・ 暮らしが変わる時の伴走者
- ・ 必ずしも「快適」ばかりが「良い場」とは限らない
- ・ 障がい児が成長して大人になった時に、「変な人」と言われない場（出会う機会）
- ・ 助けてほしい、手伝ってほしいと言えるきっかけ
- ・ 人の手を借りて生活できる場（地域）
- ・ 「ちょっと見てて」が言える地域
- ・ 自分（家族）だけで頑張らなくていい地域
- ・ 声をかけてもらえる、出かけてよかったと思える繋がりがある
- ・ それぞれの安心
- ・ みんなで気軽に声を掛け合える（あいさつ）場

つなぐ・まとめる

- ・ 人の集まりがタコツボ化しない仕組みづくり
- ・ 伴走者がいる場
- ・ コーディネーターが人をつなぐ
- ・ ソフト面に人材を使う、コーディネーター等の配置
- ・ 公民館へのコーディネーターの配置
- ・ 人を巻き込む・人をつなぐ人
- ・ 男性のコミュニティづくり

情報

- ・ 情報をつなぐ
- ・ 市報が見やすい
- ・ 市のサイトが見やすい
- ・ オンラインではない地域の伝言板

場・だべり場

- ・ カフェがある
- ・ しゃべらなくてもいられる場
- ・ 休憩所
- ・ 居座れる場所
- ・ 小学校の片隅のプレーパーク（プレーリーダーがいる）
- ・ 建物横で道遊び・外遊び
- ・ お祭り騒ぎだけではない集い
- ・ 集まれる場が沢山欲しい
- ・ テーマ・理由もなくだべる場
- ・ 大人も子供もだべる場
- ・ 顔を合わせられる場

みんなでつくる

- ・ 好きに使える公民館（貼るな、するな！はダメ）
- ・ 地域の人活躍できる場（参加）
- ・ できることを持ち寄れる場
- ・ みんなでつくる場
- ・ 近所との交渉を利用者がやる

カルチャー

- ・ 質の良い芸術に触れられる場
- ・ ものづくり（工芸/陶芸/3Dプリンター）
- ・ 歌う、演奏
- ・ 学び（カルチャー/地域/集まる）

食

- ・ キッチン、シェアキッチンがある
- ・ バーベキュー、調理
- ・ 調理したい、みんなでご飯を作って食べる
- ・ 焚火の会、屋外カフェ

公共施設の利用状況

どのような施設をいつ・どう・だれと利用している？

市内
建築系公共施設

公民館

- ・ 貫井北：自習（放課後、土日）親子共に使う
- ・ 公民館：高齢者学級（講座）に数年通っている
- ・ 公民館：子供会

スポーツ施設

- ・ 栗山公園健康運動センター：ジム、子どもはプール、友達は体操

学校施設

- ・ 体育館：子供教室（学校の一部利用、学校開放）

その他

大学

- ・ 大学：キッズプール

必要な公共サービスって
なんだろう？
未来の公共施設で
何をしてみたい？

コミュニティ つながり度

コミュニティ小

コミュニティ中

コミュニティ大

共通

未就学
(0～5歳)

プレーパークのような
屋内でも子どもが遊べる
場所 (小・中)

子どもを預かってくれる

知り合いが出来る

グループ活動

小学生・中学生

自習、勉強ができる
場所
子ども、学生、大人
(人でいっぱいにならない、大人と若者でエリアが分かれている)

公民館の
子どもの居場所づくり

中～大学生が
チャレンジできる
(地域活動など)

運営に参加できる

高校生・大学生

適度な定員＝快適に
過ごせる

生涯学習、社会教育、
自由な遊び (公民館の
利用目的を社会教育に
限定しない)

大人

気軽に利用できる

フラッと寄れる、
滞留できる

イベントに気軽に
参加できる

眺望が良い空間

高齢者

目的がない人も
使えると良い

暑くない、寒くない、
ちょっと休める
(無料)

町会の集まり、食事が
できる (公民館が簡
単には使えない)

お祭りで
地域のコミュニティづくり、
交流の拠点

- どのように使えるか認知されている
- 平等に利用できる (ある団体が独占しない)
- 参加費が無料、安い
- 予約がスムーズ
- 使い方を提案してくれる
- EVがあって足腰が弱い人でも使いやすい
- 多世代が使いたくなるサービス、ユニバーサルデザイン

みんなのやりたいを
実現するために
必要な機能を考えよう

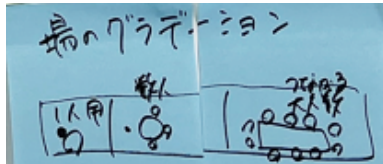
どのような場所になったら、「みんなの居場所」や「人と人をつなぐ機能」を実現する、皆さんの「〇〇したい」を実現できますか？また、市民の皆さんが求める公共施設はどのような施設・機能でしょうか。

今後（未来）の小金井市の公共施設の施設・機能について一緒に考えよう。

未来の公共施設

<施設機能 ①場の機能>

- ・屋内・屋外の滞在（椅子に座れる、床に座れる、バリアフリー）
- ・目的がなくても利用できる
- ・一人でも大勢でも利用できる（場にグラデーションを持たせる）
- ・インクルーシブ
- ・多世代
- ・放課後スクール
- ・子育てしつつテレワークができる
- ・おススメ図書コーナー
- ・キッチン、共同炊事場
- ・週替わりでサークル活動団体が、活動できるオープンな場
- ⇒訪れた市民がWSのような体験ができる（団体への加入のきっかけづくり）



<施設機能 ②行政機能>

- ・各サービスの出張所
- ・相談窓口（教育、子育て、福祉、創業・起業・事業、空き家等々）
- ・子育て支援
- ・高齢者支援
- ・オンブズパーソン
- ・本の予約、受取

■ 望ましい施設 ■

フードコート型 リビング（スペース）

<③管理・運営> （市民活動支援機能）

- ・最初は管理マネジメントのプロの採用
- ・プロや指定管理の導入
- ・つながりを生み出すコーディネーターの取り入れ
- ・プロによる人材育成、醸成の後、ゆくゆくは地域・地域の人で担っていく
- ・管理運営のルールは、ニーズや状況に応じて変化ありきと捉え、ルールの見直しを行う。

付帯機能として、
同様のバーチャル空間の
リビング

小学校

総合体育館

- ・プールは学区で集約化

清里山荘

- ・プログラムは評価するが、市で持続するのか？
- ・使用権は残し施設売却も考えられる

市民コミュニティ創造施設 ～つながる〇〇・出会う〇〇～

どのような場所になったら、「みんなの居場所」や「人と人をつなぐ機能」を実現する、皆さんの「〇〇したい」を叶えられますか？未来の公共施設の配置について一緒に考えよう。

- はけが通っており、徒歩での坂の上り下りが生じないように交通手段確保に関する配慮が必要
- はけを境に南側でも生活を支える公共サービスが必要

みんなのやりたいを
実現するために
必要な機能を考えよう

どのような場所になったら、「みんなの居場所」や「人と人をつなぐ機能」を実現する、皆さんの「〇〇したい」を実現できますか？また、市民の皆さんが求める公共施設はどのような施設・機能でしょうか。

今後（未来）の小金井市の公共施設の施設・機能について一緒に考えよう。

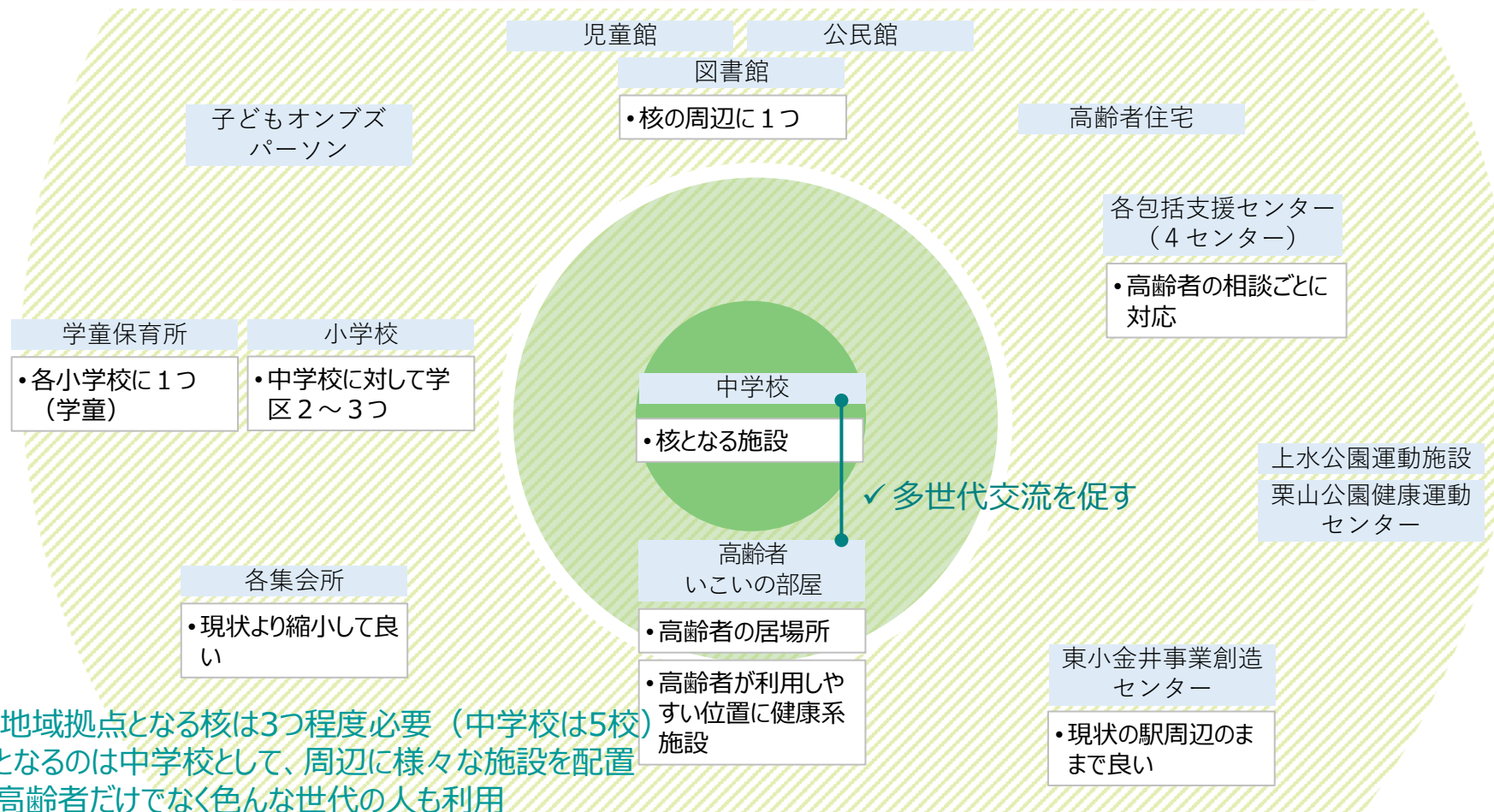
未来の公共施設

小学校 中学校 - 学校の空き教室の利用 - 学校⇄高齢者施設が一緒になると良い - 施設の共用化	児童館 学童保育所 - 児童館よりも学童の方が増えている - 児童を十分に受け入れる環境整備	清里山荘 - 無くなったら困るけど、利用していない - サービスは充分 - 体育館もあってよい - 市外の人にも利用を進めて、市内の人にPRし続けていく	東小金井事業創造センター - このまま活動を進めて欲しい - 起業したい人、中・高校生に利用してもらいたい - チャレンジ、学びの場があると良い。オフィスビルが少なく、起業できても市外に出してしまう - 社会実験の場として充実している	総合体育館 上水公園運動施設 栗山公園健康運動センター - 運動していない人が増えている - 知っている人しか使っていない - リピーターでなくても使えるように - 成人でも運動しやすい、サービスを導入（最新設備など） - プール→学校授業の利用（総合体育館） - 屋内でも遊べるように（世代ごと、安全に）	高齢者住宅 空き部屋を地域開放⇒地域団体が集まり話し合う場⇒地域の問題の解決の場
公民館 - 活動内容を知ってもらうPR、出張公民館（人の目につく場所で活動する） - 個人利用可	保育園 - 高齢者施設などと複合していく→多世代交流 - お迎えに行く人にとって、ほっとする場所があると良い - 送迎の支援（ある場所に集まれば、バスで送ってくれる）	図書館 - ワークスペースの増設 - 本館の充実、複合化 - 滞在場所の充実			市営住宅 民間施設活用
					全体を通して・・・ - 治安を良くしたい - 市民は利用者にとどまらず、機能の検討に参画すべき - 行政タテ割りをなくし市民の参画を促す - WSの積極的な実施やプランナー・コンサルタントの知見も借りる

みんなのやりたいを
実現するために
必要な機能を考えよう

どのような場所になったら、「みんなの居場所」や「人と人をつなぐ機能」を実現する、皆さんの「〇〇したい」を叶えられますか？未来の公共施設の配置について一緒に考えよう。

未来の公共施設は、どのような場所にあったら良いですか



- ✓ 市内に地域拠点となる核は3つ程度必要（中学校は5校）
- ✓ その核となるのは中学校として、周辺に様々な施設を配置
- ✓ こども・高齡者だけでなく色んな世代の人も利用

みんなのやりたいを
実現するために
必要な機能を考えよう

どのような場所になったら、「みんなの居場所」や「人と人をつなぐ機能」を実現する、皆さんの「〇〇したい」を実現できますか？また、市民の皆さんが求める公共施設はどのような施設・機能でしょうか。

今後（未来）の小金井市の公共施設の施設・機能について一緒に考えよう。

未来の公共施設

第二庁舎

西庁舎

本庁舎

新庁舎

- 駐車場が少ない
- たまに自転車で利用したい
- 市民は無料で提出物を投かん出来るようにして欲しい

駅前

- ふらっといける所
- 日常的に人が行き来するような

テニスコート場

総合体育館

上水公園運動施設

- 本当は近くに大きなスターバックスコーヒーが欲しい
- 駅から遠くても良い
- 気軽に利用しやすい

東小金井まちづくり事業用地

- 対外的に魅力的であって欲しい
- 写真映えて欲しい
- ミニマムな図書館機能、役所機能（郵便物受取）
- お洒落なカフェやレストランが入って欲しい
- 職員をあまり必要としない
- 近いイメージは東大和リビングテラス
- ネットで予約できる

文化財センター

- 古いイメージ

公民館

- 多目的に使えるように

各集会所

- 駅近に少ない
- コンビニエンスストアや飲食店と一緒に欲しい

子ども家庭センター

- 市民が安く利用できる、子どもの遊び場
- 夏でも冬でも快適

図書館

- 本以外にカフェや書店
- ネット利用が出来るようにして欲しい
- 個室の作業スペース
- 予約したら駅近で受け取れるようにして欲しい

児童館

学童保育所

- 駅から遠い
- 休みの日にふらっといける
- 1つぐらいは駅近にあると嬉しい

小金井 宮地楽器ホール

- イベントの料金が高い
- 日常的に使える
- 無料のイベント（マルシェとか）

自転車駐車場

- 東小金井はどうにか足りていると思う

保健センター

- 駅から遠い
- たまにだから駅から遠くてもしょうがない
- 広い駐車場はあった方が良い

清里山荘

- 民間でもよいのでは

みんなのやりたいを
実現するために
必要な機能を考えよう

どのような場所になったら、「みんなの居場所」や「人と人をつなぐ機能」を実現する、皆さんの「〇〇したい」を叶えられますか？未来の公共施設の配置について一緒に考えよう。

未来の公共施設は、どのような場所にあったら良いですか

• どのような配置が良いか

• 災害の視点で見て考える

本庁舎

新庁舎

保健センター

図書館

各集会所

小金井 宮地楽器
ホール

公民館

人が交流出来る場所

駅前

学童保育所

児童館

子ども家庭センター

• 駅近になくてもよいが、駐車場が確保されていてほしい
• 特定の時にしか使わない施設は一緒（一体化）しておいた方がよい（駐車場が確保できる）

• 団体登録がわずらわしく、気軽に使える施設でないため、駅近になくてもよいが、駐車場が欲しい

• 駅前に配置するのなら、もっと人と人が交わる機能があっても良いかも？
• 駅前に配置するのなら、もっとシンボリックであって欲しい

• 駅近く、駅ナカにあるとよいが、少し子どもを遊ばせてそのまま出かけられたりするようなちょっとした機能でよい
• 無人でも運用できる行政サービス機能があるとよい
⇒駅前に図書館の予約本を受け取るBOX
⇒住民票の交付や、市への提出文書を預かってくれるBOX（ロッカー）
⇒BOXはセキュリティが確保されており、無人でも運用できるもの

テニスコート場

総合体育館

上水公園運動施設

自転車駐車場

• 駅近になくてもよいが、駐車場が確保されていてほしい
• チャレンジショップ＋カフェ（スターバックスコーヒー）
• キッチンカーは天候に左右される、席がない

• 各施設に十分な台数を設けて欲しい